



2020年5月7日

各 位

会 社 名 アイフル株式会社
代 表 名 代表取締役社長 福田 吉孝
(コード番号: 8515 東証第1部)
問 合 せ 先 財務副本部長 安藤 俊明
T E L 03-4503-6050

業績予想の修正及び追加引当金の計上に関するお知らせ

アイフル株式会社（代表取締役社長：福田吉孝）は、2019年11月11日に公表いたしました2020年3月期通期の業績予想について、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2020年3月期通期の業績予想の修正（2019年4月1日～2020年3月31日）

（1）連結

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 125,100	百万円 14,400	百万円 15,400	百万円 14,400	円 銭 29.77
今回修正予想（B）	127,000	1,600	1,700	1,300	2.68
増減額（B－A）	1,900	▲12,800	▲13,700	▲13,100	—
増減率（％）	1.5	▲88.9	▲89.0	▲91.0	—
（ご参考）前期通期実績 （2019年3月期）	115,328	3,031	4,110	9,346	19.32

（2）単体

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 76,500	百万円 11,500	百万円 12,500	百万円 12,800	円 銭 26.46
今回修正予想（B）	77,500	400	1,700	1,600	3.30
増減額（B－A）	1,000	▲11,100	▲10,800	▲11,200	—
増減率（％）	1.3	▲96.5	▲86.4	▲87.5	—
（ご参考）前期通期実績 （2019年3月期）	70,991	468	1,519	5,208	10.77

2. 修正の理由及び追加引当金の計上について

【連結】

2020年3月期の当社グループにおきましては、2020年2月以降の新型コロナウイルス感染症の拡大による大きな影響は見られず、主力事業であるローン事業を中心に各事業が引き続き順調に推移いたしました。

これにより、前回発表した予想に対する営業収益は、1,270億円（前回予想比19億円増）となる見込みです。一方で、営業費用は、利息返還請求の減少が当社想定よりも鈍化している状況を踏まえ170億円の利息返還にかかる引当金の追加繰入（うち利息返還損失引当金169億円、利息返還にかかる債権放棄引当金0.9億円）を行うことを主な要因として、1,254億円となる見込みです。この結果、営業利益は16億円（前回予想比128億円減）となる見通しです。

経常利益は、営業外収益で5億円を計上する一方で、営業外費用で海外グループ会社への貸付金に対する為替差損4億円を計上することを主な要因として、17億円（同137億円減）となる見通しです。また、親会社株主に帰属する当期純利益は、非支配株主に帰属する当期純損失10億円を計上することなどにより、13億円（同131億円減）となる見通しです。

【単体】

営業収益は、ローン事業が順調に推移したことなどにより775億円（前回予想比10億円増）となる見通しですが、営業費用においては、155億円の利息返還にかかる引当金の追加繰入（うち利息返還損失引当金154億円、利息返還にかかる債権放棄引当金0.9億円）を行うことを主な要因として771億円となる見込みです。

この結果、営業利益は4億円（前回予想比111億円減）、経常利益は17億円（同108億円減）、当期純利益は、16億円（同112億円減）となる見通しです。

上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づく見通しであり、最終の業績は今後の精査結果等、様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上